グローバル化と中小企業

担当者 前田　啓一

開講時期 前期　　**単　位** 2

●講義の概要

まず、多角的な世界自由貿易体制を目指すGATT・WTO体制と２国間での自由貿易協定（FTA）や経済連携協定（EPA）とが両立するのか。また、ＥＵ統合の経験がアジア共同体の建設にどのような意味を有するのかも検討する。さらに、アジア市場における中小企業の地域間分業構造生産体制を説明する。なお、具体的には、履修者と相談のうえ講義を進めていきたい。

●講義の到達目標

今日のグローバル経済の下における中小企業の役割についての基礎的な知識を習得できるようにする。履修者の関心に基づいて、現代のグローバルな貿易・投資行動が各国の経済発展とどのような関係を有するのかを分析できるようにする。

●講義計画

第１回：問題意識
第２回：GATTとWTO（1） GATTの発足、ケネディ・ラウンド、東京ラウンド
第３回：GATTとWTO（2） WTOの誕生、ドーハラウンド
第４回：世界の地域経済統合と無差別原則
第５回：EUの発展（1） ローマ条約、関税同盟、共通農業政策
第６回：EUの発展（2） 経済通貨同盟、ユーロの誕生、リスボン条約
第７回：EUと世界自由貿易体制との矛盾
第８回：自由貿易協定（FTA，EPA）下での中小企業
第９回：発展途上諸国と自由貿易協定
第10回：欧米の自由貿易協定
第11回：貿易・投資の自由化と経済発展(1) タイと中小企業
第12回：貿易・投資の自由化と経済発展(2) 中国と中小企業
第13回：貿易・投資の自由化と経済発展(3) ベトナムと中小企業
第14回：「東アジア化」と日系中小企業
第15回：アジアの貿易自由化と経済発展
－日系中小企業にとっての意味－

●成績評価基準と方法

学生が世界経済のグローバル化進展についての理解を踏まえたうえで、各国中小企業での対応方向を検討できるようにする。

授業での報告と討議への参加、そして随時求める小レポートの提出（50%）、学年末でのレポート（50%）による総合的な評価とする。

●テキスト又は参考文献

―テキスト―

・前田啓一・塩地　洋・上田曜子編著『ASEANにおける日系企業のダイナミクス』晃洋書房、2020年など。

●受講上の留意点

授業中での討議に積極的に参加すること。